
◎町長行政報告

○議長（稲葉昭宏君） 日程第5、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申出がありますので、これを許します。

（町長 齋藤文彦君 登壇）

○町長（齋藤文彦君） 平成25年松崎町議会第4回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。

早いもので、本年も残すところわずかとなりました。この1年間を振り返りますと、まず、気象異常による災害が全国的に多発し、近隣でも西伊豆町の集中豪雨、大島町の土石流による大災害などが発生しました。気象庁でも本年から重大な災害の危険性が高まった場合に特別警報を発することで、地域住民の避難を早期に呼び掛けております。幸いにして当町における大きな災害もなく安堵しておりますが、避難勧告等を運用していく上での課題も残されております。

また、静岡県第4次地震被害想定が発表され、当町における津波の人的被害が3100人、建物の全壊・焼失棟数は1700棟に達すると推計されたことから、常葉大学の安部郁男准教授を講師に招き、防災講演会を開催し、地震・津波に対する防災意識の高揚を図ったところです。町としては、那賀川河口の水門による津波対策や、松崎海岸等の既設堤防の津波対策に対する支援について、要望活動を進めてまいりました。また、災害が発生した際の対応として、本年は、長泉町、地元建設業組合と災害時の相互応援・支援協定を締結し、万が一の対策の充実に努めました。

観光面では、第1回伊豆トレイルランニングレースを誘致し、全国から1354人の方が参加し、既に来年の第2回目の参加受付をしたところ、募集定員を大幅に上回ったことから、抽選で参加者を決定したとの報告を受けておりますことから、まだまだ需要は十分にあると思われれます。

また、7月に初お披露目された当町のゆるキャラ「まっちー」も、町内外のイベントをはじめ、商標使用についても22件の申請があり、名刺・封筒・お菓子のパッケージシール・ラベルなど多種多様に使われており、町のイメージアップに大いに貢献しております。今後ますます利用される機会が多くなることを期待する次第でございます。ちなみに、「ゆるキャラグランプリ2013」の結果発表が先日おこなわれ、当町の「まっちー」は、1580体の応募の中で、643位でした。グランプリ全体の総投票数は、前年が659万票でしたけれども、本年度は1743万票と前年を大きく上回り、注目度は高くなってきています。

では、9月以降の町の動向について、何点かご報告いたします。

先ず一点目は、9月14日に開催された「伊豆半島太鼓フェスティバル」についてであります。このイベントは14回を数え、有志による手作りイベントとして定着し、町民をはじめ多くの人々の初秋の楽しみとなりました。今回のフェスティバルには、開拓姉妹都市である北海道帯広市から姉妹都市締結35周年を記念して来町した、米沢市長様を団長とする訪問団の皆さまも参加され、夕日を背景とした勇壮な太鼓を楽しまれ、友好の絆を深めることができました。

なお当町からは、10月28日から30日まで16名が帯広市を訪問し、「おびひろ菊まつり」へ参加させていただくなど心温まる歓迎を受け、大変有意義な交流事業となりました。

次に、10月2日から6日まで島根県海士町で開催された「美しい村フェスティバル」において、「日本で最も美しい村」連合の臨時総会が開催され、静岡県で初となる、当町の連合への加盟が承認されました。これまで長年取り組んできた景観や環境保全・文化を守り活用してきたことが評価されたもので、今後はこれまで以上の取り組みが求められて参りますので、今回の加盟を契機とし、町民・地域・団体、行政が一体となったまちづくりを進めて参ります。

次に、11月21日に松崎町功労者表彰式を開催しました。これまで長年にわたり、町の自治や産業の発展のためにご尽力をいただいた5名の方を有功賞として表彰させていただくとともに、人命救助にたずさわった2名の方に善行賞を贈呈しました。

また、23日・24日の2日間にわたって、「松崎町出会い創出事業」を開催し、町内独身男性13名と県内外の独身女性12名が参加し、様々な企画によって交流を深めました。町単独による出会い事業は初めての企画でしたが、参加者からは好評であり、今後、カップル誕生に向けて期待をいたすところです。

続いて、11月30日に静岡市で開催された第14回市町対抗駅伝大会において、町の部で2年ぶりに6位入賞となりました。選手たちは6月24日に決起大会を行い、以後毎週水曜日に練習を行うとともに、選手間の厳しい選抜を経て、当日は、選手となった者は出られない人の分も頑張り。惜しくも選手から漏れた人たちは、出場選手のバックアップ体制をとるなど、チームが一つとなった結果が入賞という成果に繋がったもので、日頃の選手の練習を見守った者として、現地での応援は出来ませんでしたが、大変感激した次第です。

また、12月8日には、第30回史跡めぐり駅伝大会が開催され町内の小中学生・高校生の45チーム、225人が参加し、それぞれ健脚を競いました。県下で一番小さな町ですが、駅伝に対する土台は着実に根付いており、今後が楽しみです。

本日は、町営観光施設の入館状況について他2件について、ご報告いたします。詳細は担当課長より申し上げます。

○企画観光課長（山本 公君） それでは、企画観光課から2件の行政報告をさせていただきたいと思います。

まず、はじめに、松崎町第5次総合計画実施計画につきまして、資料No.1に基づきまして、ご報告をさせていただきたいと思います。実施計画につきましては、去る11月20日開催の議会全員協議会におきまして、本資料に基づきまして、その内容をご説明させていただいておりますので、本席では概要についてご説明をさせていただきたいと思います。

第5次総合計画につきましては、平成25年から10年間にわたる計画でございまして、本実施計画につきましては、平成26年度から平成28年度まで3カ年の実施計画を見直したものととなります。

その結果でございしますが、表紙に内容が記載してございますが、その結果、新規事業は2件、事業費変更増が4件、事業費変更減が9件、変更なしが44件の計69件となっております。5ページから6ページにかけまして、3カ年の総事業費が出ておりますが、3カ年の総事業費で42億4586万3000円、内一般会計分41億1586万3000円、水道・温泉の特別会計分1億3000万円となっております。

個別の事業につきましては7ページから12ページまでにそれぞれ記載がされておりますので、ご覧いただきたいと思います。

なお、10ページをお願いしたいと思います。10ページ、5-3、学校教育の充実、小・中学校施設整備事業の中に平成26年度に予定をされておりました旧中小体育館解体がございします。この件につきましては、今年度事業実施が可能になりましたことから、今回の一般会計補正予算の方に計上させていただいておりますので、また審議の中でよろしく願いをいたしたいと思っております。

以上、実施計画についてご説明をさせていただきました。

引き続き、町営観光施設の入館状況につきまして、資料No.2に基づきまして、ご説明させていただきたいと思っております。11月末の入館状況でございします。表の右側に累計が出ておりまして、25年度、24年度の比較でご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、上の段に伊豆まつぎ荘がございします。伊豆まつぎ荘につきましては、1080人の減の1万2682名、92.2パーセントとなります。

美術館でございしますが、1079人の減、2万2492名、94.5パーセントでございします。

重要文化財岩科学校でございします。985名減の、1万3462名、87.1パーセントでございします。

明治商家中瀬邸でございしますが、901名減の、1万2445名、93.2パーセントとなります。

民芸館、道の駅花の三聖苑につきましては、売上の比較でご説明をさせていただきたいと思
います。民芸館につきましては、67万5322円減の、928万1797円、93.2パーセントでござい
ます。

道の駅花の三聖苑につきましては、135万1066円減の1627万2592円、92.3パーセントで
ございます。

かじかの湯につきましては、904人減の1万1151、95.5パーセントという結果になっており
ます。

11月単月の状況が中ほどに記載してございますが、伊豆まつぎ荘、110.1パーセント、美
術館、106.6パーセント、民芸館、121.5パーセントということで増になっております。累計で
は全施設で前年に比べて減少という結果でございました。

次に、2ページをご覧いただきたいと思います。入込状況につきましては、ただ今ご説明させ
ていただいておりますので、ここでは収支状況につきまして、ご報告をさせていただきます。

伊豆まつぎ荘の収支状況につきましては、右側に累計というところがございますが、そち
らの欄をご覧いただきたいわけですが、収益計で1億6674万円、前年度より1164万4000円の
減、93.5パーセントでございます。公債費、減価償却費を按分して加えた費用は、1億8884万
円、前年度より62万3000円の減、99.7パーセントとなり、按分利益につきましては、前年度
より1107万9000円悪化いたしまして、マイナスの2210万円の計上となりました。

続きまして、3ページをお願いいたします。伊豆の長八美術館でございまして、下段に収支差
額がございまして、マイナス8562万3000円、前年度よりマイナスが48万7000円増加いたし
ております。

重要文化財岩科学校でございまして、収支差額168万8000円で、前年度より83万9000円改
善となっております。

4ページをお願いいたします。明治商家中瀬邸でございまして、227万円、前年度より27万3000
円改善いたしております。

民芸館でございまして、民芸館につきましては、29万4000円で前年度より47万8000円の改善
となりました。

最後に、5ページでございまして、道の駅花の三聖苑でございまして、407万9000円でござい
まして、前年度よりマイナスが11万3000円増加いたしております。

11月までの累計をみますと、重要文化財岩科学校、明治商家中瀬邸、民芸館で収支が改善さ
れておりますが、伊豆まつぎ荘、伊豆の長八美術館、道の駅花の三聖苑ではマイナスとなって

おります。

今後も各市町と連携し、伊豆への誘客を図りますとともに、観光協会、公社と一体となりまして、キャンペーン活動あるいは宣伝活動を通じまして、誘客、利用者増を図ってまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げまして、町営観光施設の入館状況につきましてのご報告とさせていただきます。

○生活環境課長（斉藤昌幸君） それでは、生活環境課の方から公営企業会計平成 25 年 11 月末の経営状況について、資料 No 3 の方で報告をさせていただきたいと思えます。

はじめに水道事業会計でございます。本年 11 月末現在で 9932 万 1000 円ということで、11 月末現在の有収水量につきましては、64 万 5233 m³ということで、一般・営業ともほとんどの分類で減少しまして、この結果、前年対比 1 万 1049 m³、1.7 パーセントの減ということになります。この結果、有収水量の減少によりまして、前年比 117 万 1000 円、1.2 パーセントの減少となっております。

一方、費用の方につきましては、営業・営業外費用で 3197 万 3000 円、予定費用、減価償却費が 4001 万 8000 円、支払利息が 1547 万 2000 円ということで、トータル 8746 万 3000 円ということで、前年比 73 万 2000 円の減。

こちらの事由につきましては、予定費用の減価償却費、支払利息の減少ということになりまして、前年対比 73 万 2000 円で 0.7 パーセントの減という形になっております。

この結果、差引純利益につきましては 1185 万 8000 円ということで、前年対比 11 万 3000 円、0.9 パーセントの減という結果となっております。

続きまして、温泉事業会計の方でございます。収益につきましては、4108 万 3000 円、こちらは前年と比べまして、54 万 4000 円、1.3 パーセントの減でございます。こちらにつきましては、昨年同期と比べまして、営業用の開栓口数の減、自家用の休止が 2 件増ということになりました。

続きまして、一方、費用面の方でございます。営業・営業外を含めまして、1349 万 2000 円、さらに予定費用の減価償却費が 2399 万 2000 円ということで、トータル 3748 万 4000 円で、28 万 9000 円、0.8 パーセントの減となっております。こちらにつきましては、薬品の購入がなかったこと、温泉量水器の関係がバーターの入庫により、取替量水器費がなくなったことによりましての減少でございます。

この結果、差引純利益につきましては、本年度 359 万 9000 円、前年対比 25 万 5000 円、6.6 パーセントの減の結果となっております。

以上で公営企業会計 25 年 11 月末経営状況についての報告を終わらせていただきます。

○議長（稲葉昭宏君） 以上で町長の行政報告を終わります。

暫時休憩します。

（午前 9 時 3 1 分）
